

- 問1 奈良時代の文化に関する説明の中に、「貴族だけでなく、兵役として送られた人々や農民の歌も収められている」という記述があります。この「兵役として送られた人々」が残した歌が収録されている、日本最古の歌集はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 古事記 | 2. 万葉集 | 3. 風土記 | 4. 日本書紀 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問2 飛鳥・奈良時代に行われた班田収授法の内容として、正しい説明はどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 武士に対して先祖伝来の領地の支配を認め、その代わりに軍役を課す仕組みを整えた。 | 2. 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。 | 3. 新たに開墾した土地を永久に私有することを認めることで、農業生産の拡大を図った。 | 4. 土地の所有権を認め、地価に応じた金額を現金で納めさせることで国家の財源を確保した。 |
|--|---|--|--|
- 問3 遣唐使の航路は、当初朝鮮半島沿岸を通る安全な「北路」が使われていましたが、やがて東シナ海を横断する危険な「南路」へと変更されました。航路が変更された背景に関する説明として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--|
| 1. 唐の都が東シナ海沿岸に移転したことで、南路を利用する方が便利になったため。 | 2. 新羅が日本に対して友好の証として東シナ海の新しい航路を譲渡したため。 | 3. 日本が唐や新羅と対立したことで、朝鮮半島沿岸の安全な航路を通行できなくなったため。 | 4. 大型船の造船技術が向上し、東シナ海を横断する方が安全で短時間で到達できたため。 |
|--|---------------------------------------|--|--|
- 問4 平城京が建設され、和同開珎などの貨幣が発行される一方で、当時の社会では伝染病の流行や政治的な対立が続いていました。このような不安定な情勢に対し、聖武天皇が東大寺に大仏を建立し、全国に国分寺を配置した目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 貨幣の流通を促進させるため、寺院を金融の窓口として利用するため | 2. 唐などの外国からの侵攻を想定し、寺院を軍事的な拠点とするため | 3. 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため | 4. 律令に基づき、農民に与えた土地の私有化を恒久的に認めるため |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
- 問5 歴史書である『続日本紀』には、農民が苦勞して開墾した土地を、これからは自由に私財として所有することを認め、永久に国が取り上げないとする趣旨の内容が記されています。この法律が制定されるきっかけとなった当時の社会背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 仏教の力によって国を護るため、寺院にのみ土地の永年私有を特別に許可したから。 | 2. 三世一身の法では、期限が来ると土地を返さなければならず、農民の開墾意欲が低下していたから。 | 3. 租・庸・調の重い負担に苦しむ農民に対して、口分田を均等に配分し直す必要があったから。 | 4. 公地公民の原則を強化し、すべての土地を天皇が直接管理する仕組みを完成させるため。 |
|---|--|---|---|
- 問6 8世紀の奈良時代に完成した『日本書紀』は、日本の国家形成において重要な役割を果たしました。この書物が編纂された主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 江戸時代に海外から入ってきた医学の知識を翻訳し、人体の構造を明らかにするため | 2. 天皇を中心とする朝廷が日本を統治する正当性や、国家の成り立ちを対内外に示すため | 3. 平安時代に栄えた貴族社会の恋愛模様や、かな文字による文学的表現を後世に伝えるため | 4. 鎌倉時代に武士が台頭する中で、和歌の伝統を守るために優れた歌を収集・整理するため |
|---|--|---|---|
- 問7 7世紀後半、日本(倭)が唐・新羅の連合軍に白村江の戦いで敗れたことをきっかけに、大陸の制度を参考にしながら天皇を中心とする中央集権国家の仕組みが整えられました。この流れの中で、8世紀初頭に制定された法体系を何と呼びますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|------------|-----------|
| 1. 班田収授法 | 2. 大宝律令 | 3. 墾田永年私財法 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|---------|------------|-----------|
- 問8 奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならい、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鑄造されました。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 明 | 2. 元 | 3. 宋 | 4. 唐 |
|------|------|------|------|
- 問9 律令国家が確立された後、政府は支配地域をさらに広げるために東北地方への進出を強めました。9世紀初め、桓武天皇によって征夷大將軍に任命され、蝦夷の軍事指導者であったアテルイを降伏させるなど、北方の支配拡大に大きく貢献した人物は誰ですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 北条時宗 | 2. 中大兄皇子 | 3. 坂上田村麻呂 | 4. 足利尊氏 |
|---------|----------|-----------|---------|
- 問10 律令国家の形成と変化について述べた次の記述のうち、出来事の時期が古い順に並んでいるものはどれですか。対象となる出来事は「大宝律令の制定」「墾田永年私財法の制定」「平安京への遷都」の3点とします。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 | 2. 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都 | 3. 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定 | 4. 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
- 問11 大宝律令などの法に基づいて整備された、奈良時代の国家体制について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 天皇から土地の支配権を与えられた貴族が、自ら現地に赴いて荘園を直接経営する仕組み | 2. 各地の諸侯が独自に領地を支配し、中央の將軍に対して軍役の義務を負う仕組み。 | 3. 中央の太政官と八省が政治を司り、地方の国々には中央から国司が派遣されて統治を行う仕組み。 | 4. 地方の有力な武士が守護や地頭に任命され、土地の管理や裁判を行う仕組み。 |
|---|--|---|--|
- 問12 663年に日本が百済の復興を助けるために派兵し、唐と新羅の連合軍に敗北した戦いを何というか、正しいものを選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|-----------|
| 1. 湊川の戦い | 2. 壇ノ浦の戦い | 3. 壬申の乱 | 4. 白村江の戦い |
|----------|-----------|---------|-----------|
- 問13 奈良時代の文化を象徴する『万葉集』に関連して、この歌集に歌が収録されている、九州の北海岸などの防備にあたった兵士のことを何と呼びますか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 衛士 | 2. 防人 | 3. 地頭 | 4. 健児 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問14 奈良時代、律令に基づいた政治が進められる中、遣唐使の要請を受けて日本を訪れ、唐招提寺を建立した人物は誰ですか。中央を南北に貫く朱雀大路や、官営の市場である東市・西市が整備された平城京の時代を背景に選んでください。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|---------|---------|
| 1. 平将門 | 2. 鑑真 | 3. 藤原清衡 | 4. 天智天皇 |
|--------|-------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 万葉集	奈良時代末期にまとめられた『万葉集』には、天皇や貴族の歌だけでなく、東国から九州へと派遣された防人の心情を詠んだ「防人の歌」や、農民の苦しい生活を詠んだ歌などが幅広く収録されています。これは、当時の人々の生活や感情を伝える貴重な史料としての側面も持っています。
問2	答え 2 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。	律令国家の基本となった土地制度で、戸籍を作成することで税（租・庸・調）を課す対象を明確にしました。選択肢にある「新たに開墾した土地を永久に私有することを認める」のは、後に班田収授法が崩壊する原因ともなった墾田永年私財法の説明です。また、現金で納税する仕組みは明治時代の地租改正、武士の土地支配は中世の封建制度の特徴です。
問3	答え 3 日本が唐や新羅と対立したことで、朝鮮半島沿岸の安全な航路を通行できなくなったため。	白村江の戦いによって日本が唐・新羅の連合軍に敗れたことで両国との関係が悪化しました。その結果、朝鮮半島沿岸を通る安全な「北路」が使用できなくなり、危険な東シナ海を横断する「南路」をとらざるを得なくなりました。
問4	答え 3 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため	聖武天皇が目指した「鎮護国家」とは、仏教の教えによって災いを取り除き、国を治めるという思想です。当時の日本は、飢饉や天然痘の流行などによって社会が極めて不安定な状況にありました。このような不安を払拭し、中央集権的な国家の結びつきを強めるために、巨大な大仏や全国的な国分寺網を整備しました。土地の私有を認めたのは同時期の墾田永年私財法ですが、これは大仏造立の直接的な目的ではありません。
問5	答え 2 三世一身の法では、期限が来ると土地を返さなければならず、農民の開墾意欲が低下していたから。	723年に制定された三世一身の法は、新しく開墾した土地を三代（あるいは一代）に限り私有を認めるものでしたが、返還期限が近づくとも農民が開墾を放棄し、土地が再び荒廃するという問題が起きました。食糧不足を解消するためにさらなる開墾を促す必要があった政府は、743年に土地の永年私有を認める方針へと転換しました。この政策変更は、国家が土地を直接支配する仕組みから、私有地を認める仕組みへの大きな転換点となりました。
問6	答え 2 天皇を中心とする朝廷が日本を統治する正当性や、国家の成り立ちを対内外に示すため	奈良時代は律令国家としての体制が整えられた時期であり、一国家としての歴史を公式に記録する必要がありました。『日本書紀』は、神話の時代から続く天皇の系譜を整理することで、朝廷による統治の由来を明確にし、日本の国としての成り立ちを国内外に示すことを意図して編纂されました。
問7	答え 2 大宝律令	唐・新羅の脅威に対抗するため、日本は法に基づく国家体制の構築を急ぎました。701年に制定されたこの法体系によって、官僚機構や税制、土地制度などが体系化され、律令国家としての基盤が固まりました。白村江の戦いから約40年後の出来事です。
問8	答え 4 唐	奈良時代、日本は遣唐使を派遣するなどして、中国の「唐」の制度や文化を積極的に取り入れました。貨幣についても唐の「開元通宝」をモデルとして、708年に「和同開珎」がつくられました。都である平城京には、各地の産物が集まる東の市・西の市が設けられ、貨幣を用いた交易が推進されました。
問9	答え 3 坂上田村麻呂	律令国家の形成期から拡大期にかけて、東北地方に住む人々（蝦夷）への支配を広げることは国家の大きな課題でした。坂上田村麻呂は征夷大將軍として組織的な軍事行動を行い、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどして政府の支配圏を北へと押し広げました。これは、律令国家が成熟し、領域国家として拡大していった過程を示す重要な出来事です。
問10	答え 2 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都	701年に大宝律令が制定されて律令国家の仕組みが整い、その後、人口増加による土地不足を解消するため743年に墾田永年私財法が制定されました。そして8世紀末の794年に、政治の刷新を目指して平安京への遷都が行われました。これらの流れは律令体制が確立した後に、土地制度の変化などを経て平安時代へと移行していく過程を示しています。
問11	答え 3 中央の太政官と八省が政治を司り、地方の国々には中央から国司が派遣されて統治を行う仕組み。	律令国家では、中央に最高行政機関である太政官とその下の八省が置かれ、全国を「国」などの行政区分に分けました。中央から派遣された国司は、地方の行政・司法・軍事を担い、画一的な法の下で全国的な統治を目指しました。守護や地頭は鎌倉時代以降の制度であるため、奈良時代の説明としては不適切です。
問12	答え 4 白村江の戦い	663年に日本が百濟復興のために派兵し、唐と新羅の連合軍に敗れた戦いを白村江の戦いといいます。この敗戦をきっかけに、日本の対外政策や航路が大きく変化しました。
問13	答え 2 防人	万葉集には、遠く離れた九州の警備に送られた「防人」たちの歌が収められています。これらは「防人歌」と呼ばれ、故郷に残した家族を思う切ない気持ちや、厳しい任務の様子が詠まれており、当時の庶民の生の声を知ることができる極めて珍しい資料となっています。他の選択肢にある「健児（こんでい）」は平安時代の兵制、「地頭」は鎌倉時代の役職です。
問14	答え 2 鑑真	5度にわたる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、唐から来日しました。聖武天皇の招きに応じ、日本の僧侶に正しい規律を授ける役割を担いました。当時の平城京は唐の長安を模した計画都市であり、仏教の力を利用して国家の安定を図る「鎮護国家」の思想が強まっていました。